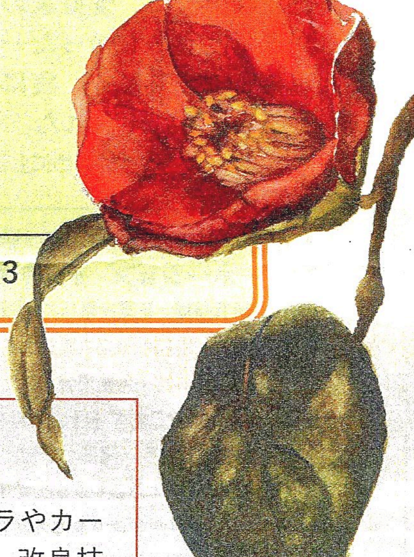
日本にゆかりのある花およそ20種を取りあげ、いかに花色を華麗にさせ、花弁の数の増加や形態の装飾化、サイズの拡大を追求して観賞価値を高めてきたかを、当時の社会背景にも触れつつ、育種家の奮闘や江戸期庶民の品評会の様子、美術作品での描写をまじえ、300点におよぶカラー図を用いて紹介。

カラー版

花の品種改良の日本史

柴田道夫［編］

本体：4,800円／四六判536頁／978-4-86582-013-3



本書の特徴

日本にゆかりのある花の百科全書

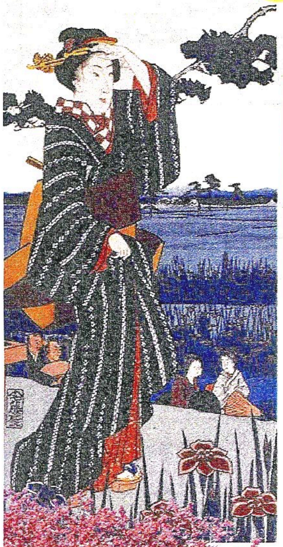
日本の国花とされているキクやサクラ、世界三大花のバラやカーネーション、万葉集にも記載がみられるユリやツツジ、改良技術を特に発展させたボタンなど、日本にゆかりのある花を幅広くカバーし、その発展経緯を明らかにしたカラー版の百科全書

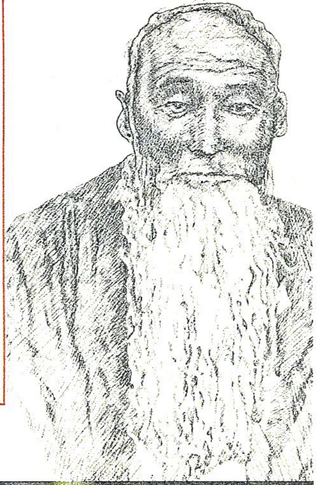
豊富なカラー写真によって花の改良経緯を解説

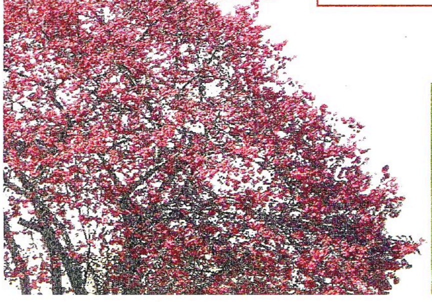
いかに花の色彩・模様・形態を改良し、観賞価値の高いものを追求してきたかを、豊富なカラー写真を用いて花の魅力に触れつつ、その経緯を解説

専門家による最先端の現場の紹介

各花の日本を代表する専門家によって、主に江戸時代から現代にいたる品種改良の具体的な経緯、さらに現在進行中の品種開発の最先端の現場を紹介







第5章

ち、一〇年以上登録を維持している品種を調べてみると、瀬戸尭穂が五品種、スカイブルーセトが一四品種（三倍体F_1品種は除く）と圧倒的に多いが、岩手県が一二品種、八幡平市が五品種、西和賀農業振興センターが八品種、信州うえだ農業協同組合が三品種、福島県が六品種となり、組織的に育種することが可能な県、市または農協が育種していることがわかる。

栄養系利用　鉢物品種では、栄養系品種が当初から多く育成され登録された（図4）。特に甘木市の和佐野勝次の育成品種が、花も大きく開くことから注目された。

また、ササリンドウの一代雑種品種の育成には、形質のそろいや越冬生存率に問題があったこと、エゾリンドウとササリンドウの種間交雑品種は後代の展開に問題があったことから、一九九五年以降は切り花においても組織培養と挿し木を単独または組み合わせて増殖する栄養系品種が多数育成され、利用されるようになった。栄養系品種は育成過程で欠株個体は除かれることから、欠株の問題は大きな課題になっていない。しかし一般的に栄養系品種の苗代が高いことから、高単価の見込めるピンク花色系統で育種が進められており、栄養系品種のバリエーションが乏しいのが課題である。

これまで育成された栄養系品種のうち、一〇年以上登録を維持している品種について調べてみると、前述の和佐野勝次が八品種の鉢物を育成しており、鉢物での育種への貢献が大きかった。また、スカイブルーセトも八品種を育成している。組織培養による増殖品種を育成している高橋俊一も一七品種を育成しており、切り花での栄養系品種の育成という分野での貢献が大きかった。また、岩手県奥州市の旧・衣川村でもピンク系切り花品種を中心に育種して、衣川村が二品種、菅原廣嶂が三品種を登録しており、産地の形成に貢献している。

人為倍数体の利用　瀬戸尭穂・中山昌明は組織培養苗をコルヒチン処理して作成した四倍体個体を選抜して、一九九七年に四倍体品種ハイブルーを登録した。さらにスカイブルーセトは同様の方法で二〇〇三

図4②　鉢物用品種ブルーアイ
提供：株式会社T&Gパイオナーサリー

図4③　鉢物用品種メルヘンアシロ
提供：八幡平市

図4①　赤花品種・恋紅
提供：八幡平市花き研究開発センター

育成の様子だけでなく、際立った貢献をした人物や品評会の様子など、花にまつわるエピソードも紹介

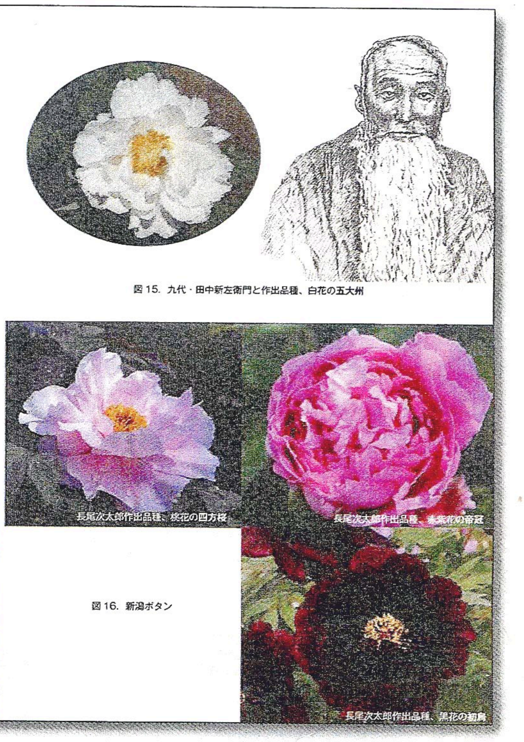


図15. 九代・田中新左衛門と作出品種、白花の五大州

長尾次太郎作出品種、淡花の四方桜

長尾次太郎作出品種、赤紫花の帝冠

図16. 新潟ボタン

長尾次太郎作出品種、黒花の初烏

では、大正四
が発行された。
てアメリカに
に（『農耕と園
県花卉球根協
門作出の五大
また、昭和九
屋デパートで
栄作出）や村
区を中心に約
なっている。
代）から苗業
園が明治末か
芝上楼などの
年に販売用
て、現在もい

図17. ボタンの島として有名な大根島（松江市八束町）。4月下旬から5月初旬はボタンの観光で賑わう。

ふんだんなカラー図を用いて、花色・花形の発展の様子を、その魅力とともに紹介

> “専門家だけでなく、愛好家の方から今まで関心のなかった一般の人たちまで、楽しく、実になる本となるようつくられた。
>
> 「はじめに」より

目次／執筆者

1章 キク　柴田道夫＊東京大学大学院農学生命科学研究科教授
2章 カーネーション　小野崎 隆＊農研機構野菜花き研究部門花き遺伝育種研究領域・品質育種ユニット長
3章 バラ　上田善弘＊岐阜県立国際園芸アカデミー学長
4章 ユリ　岡崎桂一＊新潟大学自然科学系（農学部）教授
5章 リンドウ　日影孝志＊安代町花き開発センター
6章 チューリップ　浦嶋修＊富山県高岡農林振興センター主任専門員
7章 ツツジ　小林伸雄＊島根大学生物資源科学部教授
8章 ツバキ　田中孝幸＊東海大学教授
9章 ボタン　細木高志＊島根大学名誉教授
10章 ハナショウブ　田淵俊人＊玉川大学農学部教授
11章 サクラ　水戸喜平＊元静岡県農業試験場
12章 トルコギキョウ　福田直子＊農研機構野菜花き研究部門主席研究員
13章 ペチュニア　須田畯一郎＊元サカタのタネ代表取締役専務
14章 ヒマワリ　羽毛田智明＊タキイ種苗研究農場次長
15章 ストック　黒川幹＊クロカワストック代表取締役
16章 コスモス　稲津厚生＊元玉川大学農学部教授
17章 パンジー　荒川弘＊サカタのタネ顧問
18章 アジサイ　工藤暢宏＊群馬県農政部蚕糸園芸課補佐（花き係長）
19章 青い花　田中良和＊サントリーグローバルイノベーションセンター上席研究員／中村典子＊サントリーグローバルイノベーションセンター主任研究員

関　連　書　籍

品種改良の日本史

作物と日本人の歴史物語

［編］鵜飼保雄・大澤良

日本で特に発達した作物 15 を取りあげ、品種開発の経緯を人物エピソードに触れつつ紹介

本体 4,000 円　四六判 524 ページ

品種改良の世界史

作物編

［編］鵜飼保雄・大澤良

世界の主な 20 以上の作物について、改良品種が作られた経緯を、時代背景をふまえて紹介

本体 4,500 円　四六判 594 ページ

樹木讃歌

樹木と人間の文化誌

［著］N・キングズベリー［訳］荒木正純他

樹木への畏怖の念を含む文章と美しい写真で、人と樹木の数千年の関係をやさしく説きあかす

本体 9,500 円　B4 判フルカラー 288 ページ

貴店番線印

ご担当者様

お申し込み部数

部	カラー版 花の品種改良の日本史	本体 4,800 円	978-4-86582-013-3
部	品種改良の日本史	本体 4,000 円	978-4-903487-71-7
部	品種改良の世界史・作物編	本体 4,500 円	978-4-903487-41-0
部	樹木讃歌	本体 9,500 円	978-4-86582-005-8

悠書館　東京都文京区本郷 2-35-21-302　http://www.yushokan.co.jp
TEL03-3812-6504 ／ FAX 03-3812-7504